

狭山池シンポジウム2010（第1回）

○開催日

2010年10月16日

○テーマ

狭山池の誕生をさぐる

○内 容

今回のシンポジウムは、大阪狭山市吉田友好市長、府立狭山池博物館・市立郷土資料館工楽善通館長のあいさつにはじまり、パネリストの先生方には狭山池のはじまりや東アジアとの関係を文献資料や石碑、狭山池築造に際して使用された敷葉工法、それと同じ工法を持つ碧骨堤との関わりという様々な視点から講演していただきました。

講演後、開いたパネルディスカッションは短い時間ではありましたが、ご来場の市民の皆さんの質問をもとに先生方に答えていただく形を取り、討論していただきました。

来場者数は450名と多くの方々に来ていただき、大阪狭山市民の憩いの場である狭山池に様々な歴史的背景が存在することを知っていただく第一歩となるシンポジウムとなりました。

○パネリスト報告等

「狭山池築造の歴史的背景」 栄原永遠男氏(大阪市立大学名誉教授・特任教授)

「金堤、碧骨堤の歴史と文化」 鄭允淑(ジョン ヨンスク)氏(金堤市農耕文化博物館学芸員)

「文字資料からみた韓国古代の築堤」 田中俊明氏(滋賀県立大学教授)

○パネルディスカッション

◇コーディネーター

工楽善通氏(大阪府立狭山池博物館館長・大阪狭山市立郷土資料館館長)

◇パネリスト

栄原永遠男氏(大阪市立大学名誉教授・特任教授)

鄭允淑(ジョン ヨンスク)氏(金堤市農耕文化博物館学芸員)

田中俊明氏(滋賀県立大学教授)

小山田宏一氏(大阪府立狭山池博物館・大阪狭山市立郷土資料館学芸員)



コーディネーター 工楽先生



パネルディスカッション風景